

区分	教育内容	科目数	授業科目	単位	時間	学年	開講期	選択・必修	講師	資格等	実務経験	授業との関連性
専門分野 I	基礎看護学	1	基礎看護学概論 I	1	30	1	前期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（呼吸器病棟、腎病棟、消化器外科病棟） ケアマネージャー	多様な看護場面・さまざまな健康の段階にある人との関わりを活かし、看護の基本について講義・演習を行う
		2	看護技術論 I	1	30	1	前期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（外科、外科外来） 訪問看護師	病院・在宅における看護を活かし、人々の環境の調整や感染管理、コミュニケーション技術について講義・演習を行う。
		3	看護技術論 II	1	30	1	前期	必修	専任教員	看護師	整形外科病院 内科クリニック	整形外科病棟で活動制限のある方への援助を通して、安楽な移動・姿勢および睡眠・休息が図れるための方法を活かして講義・演習を行う。
							後期		専任教員	看護師	急性期病院（循環器病棟、脳神経外科・神経内科病棟）	看護師としての経験だけでなく、実習指導者として学生に開いた経験を活かし、看護にとって大切なことを演習している。
		4	看護技術論 III	1	30	1	前期	必修	専任教員	看護師	産婦人科病院、内科・外科病棟	入院患者の食事介助や食事指導を通して、食への欲求を満たすための講義・演習を行う。
							後期		専任教員	看護師 保健師	急性期病院（消化器内科） 保健センター	入院患者の排泄援助を通して、排泄の意義や羞恥心などを踏まえた講義・演習を行う。
		5	看護技術論 IV	1	30	1	前期	必修	専任教員	看護師	整形外科病院 内科クリニック	入院患者の清潔援助を通して、清潔の意義・快適な衣生活を踏まえた講義・演習を行う。
									専任教員	看護師	急性期病院（小児病棟、婦人科外科病棟）	入院患者の清潔援助を通して、清潔の意義・快適な衣生活を踏まえた講義・演習を行う。
		6	看護技術論 V	1	30	1	前期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（循環器病棟、脳神経外科・神経内科病棟）	入院患者のフィジカルアセスメントを活かして、バイタルサイン測定やフィジカルアセスメント技術の講義・演習を行う。
7	看護技術論 VI	1	30	1	後期	必修	専任教員	看護師	整形外科病院 内科クリニック	病棟やクリニックにおいて様々な健康問題を解決するなど問題解決思考を活かして、思考過程の訓練のための講義・演習を行う。		
							専任教員	看護師	急性期病院（呼吸器病棟、腎泌尿器病棟、消化器外科病棟） ケアマネージャー	病棟において様々な健康問題を解決するなど問題解決思考を活かして、思考過程の訓練のための講義・演習を行う。		
8	看護技術論 VII	1	30	2	後期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（集中治療室）	入院患者の診察や検査、採血など診療の補助業務を活かして、講義・演習を行う。		
							専任教員	看護師	急性期病院（呼吸器病棟、腎泌尿器病棟、消化器外科病棟）	入院患者への投薬など診療の補助業務を活かして講義・演習を行う。		
9	看護技術論 VIII	1	30	2	前期	必修	専任教員	看護師	整形外科病院 内科クリニック	入院患者の創傷処置を活かして、創傷治療過程の援助技術について講義・演習を行う。		
							専任教員	看護師	急性期（循環器病棟） 訪問看護ステーション	循環不全に伴う呼吸管理やエンゼルケアを活かして、呼吸困難を軽減する技術や、死の看取りの援助について講義・演習を行う。		
							専任教員	看護師	急性期病院（循環器病棟、脳神経外科・神経内科病棟）	急性期病院での一時救命処置や止血などの経験を活かして、救急処置の講義・演習を行う。		
専門分野 II	成人看護学	10	成人看護学概論	1	30	1	前期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（脳神経外科病棟、救急・混合病棟）	病棟において成人期の患者への看護を通して、成人期の健康障害と看護、経過別の考え方を講義する。
									専任教員	保健師	保健センター	保健センターでの健康指導を通して、健康指導や疾病予防の講義・演習を行う。
		11	成人看護学方法論 I	1	30	2	後期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（腎・透析病棟）	透析病棟において腎不全にある患者の生活指導や透析の管理を経験したことを活かし、腎機能障害にある人への援助について講義を行う。
									専任教員	看護師	整形外科病院	整形外科疾患全般を経験したことを活かし、骨折を中心とした援助について講義を行う。
									専任教員	看護師	急性期病院 認知症ケア専門士	ボランティア研修や認知症ケア専門士としての活動を通して、障害をもつ人の理解を深めることで、障害受容や自立に向けての看護を講義する。
		12	成人看護学方法論 II	1	30	2	後期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（脳神経外科病棟、救急・混合病棟）	脳神経外科や救急病棟において周手術期の看護を経験したことを活かし、手術前・中・後や救急看護について講義する。
									専任教員	看護師	急性期病院（循環器病棟）	循環器病棟で心不全・虚血性心疾患をもつ患者への関わりを活かして、循環器疾患患者への看護を講義する。
									専任教員	看護師	急性期病院（集中治療室）	集中治療室で呼吸不全患者や肺炎患者との関わりを活かして、呼吸器疾患患者への看護を講義する。
		13	成人看護学方法論 III	1	30	2	前期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（脳神経外科病棟、救急・混合病棟）	脳疾患患者の自己管理への指導経験を活かして、成人期のセルフケアを支えるための看護を講義する。
									専任教員	看護師	急性期病院（集中治療室）	集中治療室では栄養・代謝・消化・免疫が低下している患者が多く、それぞれの援助を行った経験を活かし、講義を行う。
		14	成人看護学方法論 IV	1	30	2	前期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（脳神経外科、循環器病棟、消化器病棟）	病棟においてがん患者やターミナル期の患者との関わりを活かして、がん患者への支援や緩和ケアや死生観の講義を行う。
		15	老年看護学概論	1	30	1	後期	必修	専任教員	看護師	認知症ケア専門士 急性期病院	認知症ケア専門士として老人ホームでの講演やスタッフへの助言を行うなど老年期の特徴を良く把握し、講義を行う。
									専任教員	看護師	急性期病院（手術室、泌尿器病棟、呼吸器病棟、外来全般）	呼吸機能・排泄機能が低下している高齢の入院患者が多い病棟での経験を活かして、講義・演習を行う。
									専任教員	看護師	急性期病院（手術室、泌尿器病棟、呼吸器病棟、外来全般）	呼吸機能・排泄機能が低下している高齢の入院患者や手術を受ける高齢患者への看護を活かして、講義を行う。
非常勤講師	看護師								急性期病院（地域連携室、泌尿器病棟）	老年患者の退院後の生活指導や術前術後の管理においては、現場の看護師に依頼し、実際について講義を行う		
17	老年看護学方法論 II	1	15	2	後期	必修	専任教員	看護師	認知症ケア専門士 急性期病院	認知症ケア専門士として老年期を理解し、生活機能を維持・改善し、地域で暮らすための援助技術を講義する。		
18	老年看護学方法論 III	1	15	2	前期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（手術室、泌尿器病棟、呼吸器病棟、外来全般）	老年患者の様々な健康の段階において患者の健康問題を解決してきた経験を活かして、老年看護過程の講義・演習を行う。		
19	母性看護学概論	1	30	1	後期	必修	専任教員	助産師	急性期病院（産科病棟）、クリニック	助産師として母性看護の機能・役割を熟知していることを活かし、母性の概念や特徴について講義する。		
							専任教員	助産師	急性期病院（産科病棟）、クリニック	助産師として母性の健康問題や母子保健統計など保健分野にたずさわった経験を活かし、母性を取り巻く社会や環境の現状を講義する		
20	母性看護学方法論 III	1	30	2	後期	必修	専任教員	看護師	産婦人科病院（産科病棟・新生児病棟）	妊娠・分娩において褥婦・新生児への健康問題を解決してきた経験を活かし、産褥期・新生児期の看護過程の講義・演習を行う。		

小児看護学	21	小児看護学概論	1	30	1	後期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（小児病棟、救急救命センター）	小児病棟において子どもの成長発達や保育の必要性、保健などの関わりを活かして、小児期の健康や健康支援の講義を行う。	
	22	小児看護学方法論Ⅰ	1	30	2	前期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（小児病棟、救急救命センター）	小児病棟や救命救急センターで治療を行う小児のクリティカルケアや終末期の子どもと家族への支援を活かして講義を行う。	
								専任教員	看護師	急性期病院（小児病棟）	小児病棟で治療を要する子どもや術前後の看護などの経験を活かし、小児における急性期の看護を講義する。	
23	小児看護学方法論Ⅱ	1	30	2	後期	必修	専任教員	看護師	急性期病院（小児病棟）	小児病棟で様々な健康の段階にある患児との関わりを活かして、健康障害への看護や指導技術、看護技術を講義・演習する。		
統 合 分 野	在宅看護論	24	在宅看護論概論	1	15	2	前期	必修	専任教員	看護師	訪問看護ステーション 急性期（循環器病棟）	訪問看護師としての経験を活かし、在宅看護論の概念および在宅における看護の機能・役割を講義・演習する。
		25	在宅看護論方法論Ⅰ	1	30	2	前期	必修	専任教員	保健師	保健センター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション	保健師・ケアマネージャーとして地域における活動を活かし、在宅看護を支える社会資源や他職種との連携について講義・演習する。
									非常勤講師	看護師	訪問看護ステーション	現在訪問看護ステーションの看護師として勤務し、在宅ケアにおける小児の訪問看護の実際について講義する。
26	在宅看護論方法論Ⅱ	1	30	2	後期	必修	専任教員	看護師	訪問看護ステーション 急性期（循環器病棟）	訪問看護師として在宅療養者のアセスメントや健康問題への支援を活かして、在宅療養者とその家族への支援や看護過程を講義・演習する。		
		合計	26	735								

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表（助産学科） 2019年度

教育内容	科目数	授業科目	時間	開講期	選択・必修	講師	資格等	実務経験	授業科目との関連性
学 助 産 基 礎 助 産 診 断 ・ 技 術 学	1	ウイメンズヘルス論	15	前期	必修	専任教員	助産師	急性期病院（産婦人科病棟）、産婦人科クリニック	助産師として女性の健康や生殖にかかわってきた経験を活かし、女性の健康問題に関する講義を行う。
	2	助産診断・技術学Ⅰ	35	前期	必修	専任教員	助産師	急性期病院（産婦人科病棟）、産婦人科クリニック	助産師として妊娠経過や異常経過などの助産診断技術を行ってきた経験を活かし、妊娠期の助産ケアに必要な技術や知識を講義・演習する。
	3	助産診断・技術学Ⅱ	58	前期	必修	専任教員	助産師	急性期病院（産婦人科病棟）、産婦人科クリニック	助産師として分娩期の助産診断・フィジカルアセスメント技術を行ってきた経験を活かし、分娩期にある妊産婦と胎児・家族へのケアについて講義する。
	4	助産診断・技術学Ⅲ	25	前期	必修	専任教員	助産師	急性期病院（産婦人科病棟）、産婦人科クリニック	助産師として産褥期の助産診断やハイリスク新生児のケアに携わり、その経験を活かし、産褥期や新生児のアセスメント、ハイリスク・異常褥婦のアセスメントについて講義する。
	5	助産診断・技術学Ⅳ	39	前期	必修	専任教員	助産師	急性期病院（産婦人科病棟）、産婦人科クリニック	助産師として安心安全な出産や産後の家族計画など保健指導・健康教育を実践してきた経験を活かし、周産期の対象への健康教育、家族計画指導の講義・演習を行う。
	合計		172						